

2024 年 10 月のブルーベリー農園その 1

中秋に入ったが気温が真夏と秋がまじりあうように変わる。10 月 1 日の東広島市豊栄町のブルーベリー農園の日中の気温が 30 度で 2 日

のそれは雨で 18 度。それでもブルーベリー畑の草刈りをしているとレンゲのこぼれ種から芽が出て葉がしっかり伸びていたりしているので、植物は暑い寒いでなく日照時間で動いていると思ってしまう。それでも雨の日が続き 5 日、6 日には秋らしくなって農作業もやっと楽になった。

10 月 1 日 (火) 緑肥の種まきが済んだので、種をまいたブルーベリー畑の木と木の間の草を刈る作業に取り掛かる



倉庫を挟んだ農道にジョロウグモの大きな蜘蛛の巣がかかっていた。雨のしずくがついて重たそうに白く輝く

10 月 3 日 (木) 待望の雨が降ってきた。外の作業ができないので倉庫の整理を行う。防獣ネットをきれいに畳んだりした



10 月 4 日 (金) ブルーベリー畑の草刈りの合間に枯れたブルーベリーの植え替えを 2 本行った

倉庫の出入りをしているとキンモクセイの香りがした。倉庫のすぐそばに白いキンモクセイが咲いていた



ヒガンバナが満開になっていた。今年は咲くのが遅かった



早生のブルーベリーの紅葉が少しずつ始まった



10月5日(土) 農園の所々にあるチカラシバ。夕暮れになると夕日を受けて穂がきれいに見える



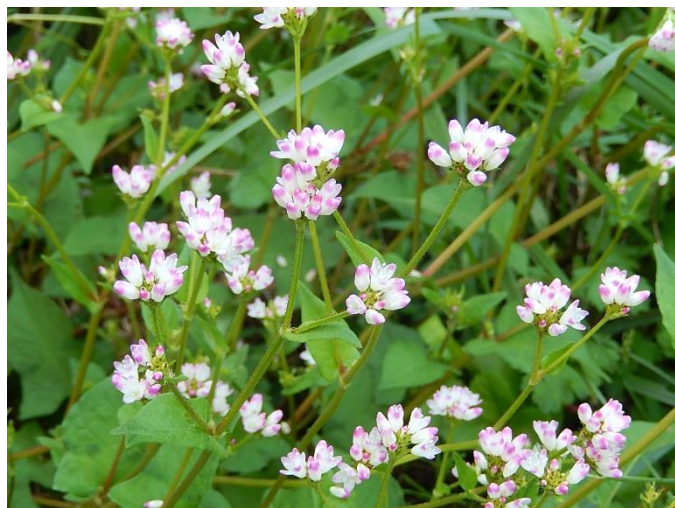
10月6日(日) ブルーベリー畑の草刈りと並行して野菜畑の鋸鎌で少しずつ刈ってきたがやっと終わった



野菜畑からブルーベリー畑を見下ろす。隣の休耕田の雑草の中に白いミゾソバの群落が見える。湿気の多いところを好むので水路沿いに咲いている



花びらの先にちょこんと桃色をのせている



2024年10月8日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良

*《2024年10月8日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》